

発行責任者 前田次夫

電話 78-1134 No.212

2009年8月5日

# 市みん

すべての市民の幸福を  
めざして丸尾行子の議  
会報告と市内の出来事

暑中お見舞い申し上げます

平成二十一年盛夏

丸尾行子



## 第二十八回朝来市定例議会のこと

多次市長になってから初めての定例議会は、六月十六日（火）を初日として開かれました。今議会では、「物価に見合う年金引き上げを求める請願書」（委員長報告）など請願四件、「交通事故による損害賠償に係わる専決処分」の報告について「など報告二件。」「副市長の選任について」など同意二件。「専決処分の承認を求めることについて」など承認三件。「平成二十一年度朝来市一般会計補正予算（第一号）について」など議案七件。「平成二十一年度朝来市水道事業会計決算の認定について」など認定三件。「朝来市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について」の発議一件が上程されました。二十五、二十六、二十九日、に行われた一般質問では、各党派代表の一般質問のあと、淵本、坪内、中島、上谷、木村、上道、吉田、能見、横尾、鈴木、斉藤、岡田、太田の各議員が質問に立ちました。今回の一般質問では、多次市長の公約や、所信表明に対する質問が多く出ました。

上程された案件の内、請願一号、三号、四号は否決されましたが、嵯峨山正副市長の選任など、その他の案件は、原案通り可決されました。

本会議が開かれたのは十六、二十五、二十六、二十九、三十、七月九日（最終日）の六日間でした。平成二十一年度一般会計補正予算額 一九億一千五百万円

### 市内の出来事あれこれ

八月三十日の衆議院選に向けて各政党は激しく動き出した。ところで、私達が得る情報はテレビと新聞である。候補者の演説を聞く機会などほとんど無い。マニフェストに議員定数の削減を掲げる政党もあるが、議員が減る事は、とりもなおさず有権者と議員の距離が遠くなることだ。

## 外国債購入問題

# 井上前市長に条例違反？

八月二日夜七時から開かれた基金運用問題調査特別委員会には、井上英俊前市長が参考人として出席しました。委員会では、指定金融信託の十三億円（内中川財産区分二億円）について、委員側から多くの質問が出ました。市の「財政調整基金条例」第三条には「基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる」と定めています。銀行と朝来市との契約書では、指定金融信託は「有価証券ではない」と明確に記載しており、井上氏はこの契約書を決済しています。条例違反を問われると井上氏は、「条例については、事務方で精査済みと思っていた」と述べました。委員側から、三月二十七日に「条例違反の指摘があった。なぜ自分で確認しなかったのか」と質問されると。井上氏は「購入が条例からはみ出すのであれば、条例を修正するという答弁です。」と数回繰り返して述べました。これには、委員側から「市民の信託を受けた貴方には、法律と条例を遵守する責任がある」と厳しい言葉が出ました。更に指定金融信託の契約から十日以上も後になって、内規である訓令を変更し、指定金銭信託を買い取るようにしていることも明らかになりました。委員側からは、条例違反に対する法的措置についての言及もありました。三月に井上氏が中川財産区に出した文書について、委員側から、「中川財産区の一億円分は時価で約七千万円になっている。これを朝来市が買い取ることは市民に損失を与える。条例上も問題。」と説明がありました。終わり近くになって、井上氏は「事務方が起案し私が決済したが、責任は私にある。」と述べました。「外国債購入は議会に知らされていないかった」ことは事実ですが、この問題で議会の立場を口にする市民もおります今、議会は責任を問われています。

文責 丸尾

## 第二十九回朝来市臨時議会が開かれました

七月三十一日の臨時議会では、議案第六十一号「朝来市立朝来中学校校舎地震補強工事請負契約の締結について」を審議し、原案通り可決しました。

契約の相手方 株式会社田中工務店・契約金額一億五千百五十万円